

授業科目名	教職実践演習	必修	開講年次	4	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教職実践演習）					
サブタイトル	教員としての実践力量の向上のために		担当者	小松 伸之・丸橋 唯郎・関 巖		
授業概要	<p>【実務（中学・高等学校教諭）経験を活かした授業：小松・関】  中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】  本演習は、教職に関連する学びを振り返りながら、新人教員として最低限求められる資質・能力等を確認することを目的とする。具体的には、①木更津総合高等学校における参与観察による生徒理解や学級経営の基礎的な方法、②ロールプレイによる生徒・保護者などへの対応方法、③教科教育法担当教員及び高等学校教員の指導を仰ぎながら、教材作成や模擬授業を通じた教科の指導力を確認する。以上の実践的な取り組みと現職教員による指導や対話を通じて、教員になるための意志を強め、教員としての使命感や責任感を高めることを目指す。</p> <p>【到達目標】  ○教員との対話や高等学校への参与観察を通じて、生徒理解や学級経営への理解を深める。  ○ロールプレイを通じて、生徒・保護者への対応、社会人としてのマナーを身につける。  ○精練授業の内容を省察して、模擬授業を実践することができる。</p>					
履修条件	教育実習を終了もしくは本年度に実施予定で、かつ卒業見込みの者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】  原田恵理子・森山賢一編『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版</p> <p>【参考書】  適宜、資料を配布する。</p>					
授業回数	授業内容					担当者
1	オリエンテーション（教職実践演習のねらい、教育実習の振り返り） 予習：教職に関する学びの振り返り 復習：テキストの読解					小松
2	高等学校における実習①（私立学校の現状、真心教育と木更津総合高校の概要、ロングホームルーム見学） 予習：配布資料の読解 復習：課題の作成					小松
3	高等学校における実習②（生徒理解と学級経営について、高校教員との討議） 予習：教育実習の振り返り 復習：課題の作成					小松・丸橋
4	高等学校における実習③（私立学校が求める教員像の探究、高校教員との討議） 予習：教育実習の振り返り 復習：課題の作成					小松・丸橋
5	高等学校における実習の振り返り 予習：実習の振り返り 復習：課題の作成					丸橋・小松
6	求められる教員像の探究 予習：テキストの読解 復習：課題の作成					丸橋
7	生徒理解について 予習：テキストの読解 復習：課題の作成					関
8	学級経営について 予習：テキストの読解 復習：課題の作成					関
9	ロールプレイ（生徒・保護者への対応、社会人としてのマナー） 予習：テキストの読解 復習：ロールプレイの復習					小松
10	千葉県教育委員会指導主事の先生による講演（県教委が求める教員像の探究） 予習：配布資料の読解 復習：講演内容の振り返り					小松
11	模擬授業①（教科教育法担当教員による指導） 予習：模擬授業の準備 復習：模擬授業の振り返り					小松
12	模擬授業の相互批評①（教科教育法担当教員による指導） 予習：コメントの整理 復習：模擬授業の改善策の検討					小松
13	模擬授業②（教職担当教員・教科担当教員・高校教員による指導） 予習：模擬授業の準備 復習：模擬授業の振り返り					小松
14	模擬授業の相互批評②（教職担当教員・教科担当教員・高校教員による指導） 予習：コメントの整理 復習：模擬授業の改善策の検討					小松
15	総括（教職カルテ・模擬授業の振り返りを含む） 予習：教職に関する学びの総復習 復習：理解が不十分な点についての復習					小松
評価方法	木更津総合高校での演習終了後のレポート(30%)、模擬授業(30%)、最終課題(40%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容についてよく理解してレポートをまとめ模擬授業を実践できた者には「S」または「A」を与える。内容理解やレポート、模擬授業に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。全く出席しないなど判定不能な者は「F」とする。					
その他	本演習の評価によっては、教員免許状取得申請が取り下げになる場合があるので注意すること。					